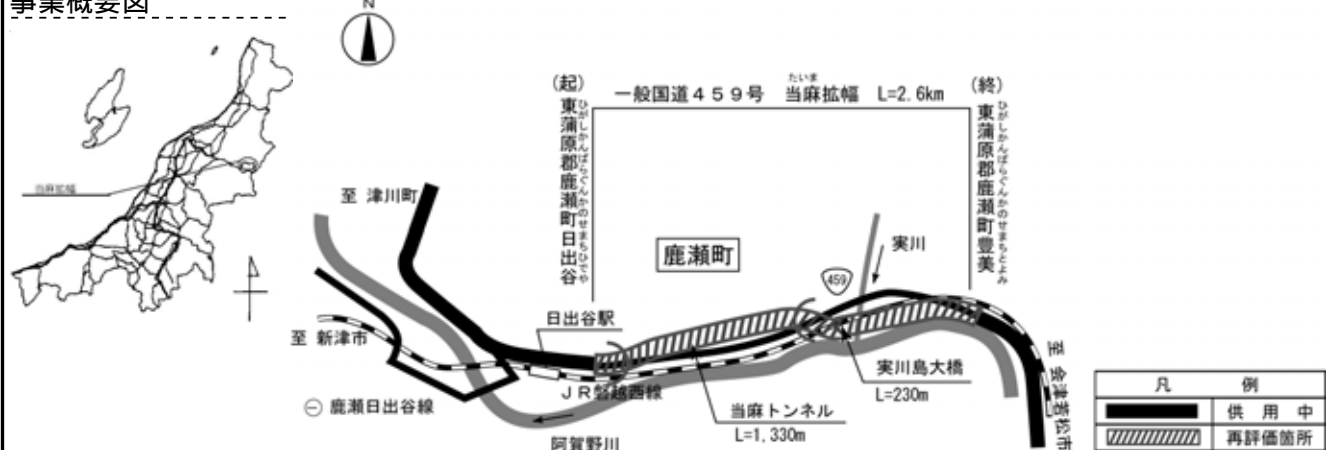


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名： 鈴木 克宗

事業名	一般国道459号 <small>たいま</small> 当麻拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県		
起終点	自：新潟県東蒲原郡鹿瀬町日出谷 至：新潟県東蒲原郡鹿瀬町豊実	延長	2.6km				
事業概要	一般国道459号は、新潟県新潟市を起点とし福島県双葉郡浪江町に至る幹線道路である。当麻拡幅は、現道拡幅により幅員狭小、平面・縦断線形不良の隘路区間を解消し、円滑な交通の確保、日常生活圏の連携強化を図る、延長2.6kmの2車線道路である。						
H7年度事業化	都市計画決定なし	H8年度用地着手	H8年度工事着手				
全体事業費	約56億円	事業進捗率	76%	供用済延長	0km		
計画交通量	1,400台/日						
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体)	1.3	総費用 (事業全体)	14/62億円	総便益 (事業全体)	83/83億円	基準年 平成16年
	(残事業)	5.9	事業費 維持管理費	11/59億円 3/ 3億円	走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益	82/82億円 1/ 1億円 0/ 0億円	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設「県立津川病院」へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>・災害への備え（近隣市へのルートが1つしかなく、災害による道路寸断で孤立化する集落を解消する）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	一般国道459号は、地域ネットワークの構築、緊急時の安全性確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、沿線市町村で構成される「国道459号整備延伸促進期成同盟会」より要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし						
事業の進捗状況、残事業の内容等	当麻トンネル（L=1,330m）に着手し、約1,300mのトンネル掘削を完了。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	当麻トンネル施工地付近にクマタカが生息しているため、営業状況等を確認しながらの施工となり、施工期間に制約を受け時間を要している。 平成20年代前半までに当麻トンネルを含むL=1.9kmの供用を目指している。						
施設の構造や工法の変更等	新技術、プレキャスト製品の積極的活用、再生材の活用等のコスト縮減を考慮した計画となっており、今後一層の建設コスト縮減に努める。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。